

LPガス
人と地球にスマイルを

ちば「炎の仲間」

発行

一般社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
TEL 043-246-1725
FAX 043-243-6781
E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
http://www.chibalpg.or.jp
毎月10日は保安の日

2019年度第3回 定例理事会を開催

当協会では、去る1月16日(木)午後3時より三井ガーデンホテル千葉に於いて、2019年度第3回定例理事会を開催しました。

理事会は、青木副会長の開会の辞で開会し、小倉会長のあいさつの後、経済産業省谷企画官、県産業保安課宍倉副課長からご挨拶をいただき、議事に入り、慎重審議の結果、全議案が原案どおり承認され、石井副会長の閉会の辞により閉会されました。

なお、会議終了後には千葉県議会自由民主党LPガス議員連盟副会長で県議会議長、また、全国LPガス連盟千葉県支部顧問の今井勝先生、県産業保安課大竹悦司課長をお招きし、協会役員と大手事業者との懇親会が開催されました。

【議事内容】

- | | | |
|-----|--|-----------|
| 議題1 | 執行理事(各委員会)報告について | (報告事項) |
| 議題2 | 台風15号等 | |
| | (1) 台風15号等の概要とLPガス消費先被害状況及び今後の災害対策について | (報告・審議事項) |
| | (2) LPガス業界の被害状況について | (報告事項) |
| | (3) 防災基金の取り崩しと被災事業者への災害対策費の査定について | (審議事項) |
| 議題3 | 委員会規程一部改訂について | (審議事項) |
| 議題4 | 定款一部削除並びに一部変更について | (審議事項) |
| 議題5 | LPライフ天災地変特認支援金の査定について | (報告事項) |
| 議題6 | 被災状況報告書について | (意見交換会) |
| 議題7 | 2019年度千葉県内LPガス使用状況について | (報告事項) |
| 議題8 | その他 | |



【←小倉晴夫会長】



【←経産省 谷浩企画官】



【←LPガス議員連副議長 今井勝副議長】

【会長挨拶要旨】

皆様、新年、あけましておめでとうございます。

理事の皆様方には、昨年中は、いろいろな業務にご支援、ご協力をいただいているところであり、改めて感謝を申し上げます。

また、経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課谷浩企画官、県産業保安課の宍倉輝吉副課長におかれましては、公務ご多用の所、当協会の理事会にご臨席いただき、ありがとうございます。谷企画官には、東京で各種の会合のある中、お越し頂きましたことを申し述べさせていただきます。

なお、大竹悦司産業保安課長は、所要のため意見交換会からご参加を頂く予定と聞いております。

昨年は、台風15号、19号とその後の大雨により千葉県は、大きな被害を被りました。被災された方々に対してお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を願うばかりです。LPガスの安定供給には、支障がなかったものの、停電が長期化した場合を考えますと、その対策が必要であると考えております。災害対策は、当協会の第一の課題と捉えており、本日の議題としていただいております。

当協会の目的は、LPガス等のエネルギーの安定供給と災害事故防止を含めた地域社会の発展に関する事業を行い、県民福祉向上に寄与することとなっております。

この目的を達成するためには、我々理事だけではなく、行政並びに立法、即ち、国会並びに県議会の政治連盟顧問の先生方のご理解とご協力が必要と考え、本日の理事会にお呼びしている次第です。

去る、12月6日金曜日には、千葉県議会において当政治連盟

顧問でありLPガス対策議員連盟の伊藤昌弘会長が「防災対策について」次の2項目の一般質問を行いました。

一つ目は、避難所における電源の確保について、LPガス発電機を採用することを質問し、県は、灯油と共にLPガスの燃料備蓄に努めるとの答弁でした。

二つ目は、災害時における自動車用燃料の選択肢の拡大を求め、公用車にLPガス車の導入を要求し、県は、導入に向け早急な対応を検討すると回答しました。

また、最後に昨今の災害による被災状況を勘案し、停電対策と併せて避難所となる体育館にLPガスによるGHPの空調設備採用を要望しました。この内容は、本日配付した資料をご覧ください、詳細をご確認下さい。

なお、本日の理事会には、千葉県のLPガス業界に大きな影響力をお持ちの大手事業者各位にもオブザーバーとしてご出席頂き、協会事業にご理解頂くこととしております。

理事会終了後には、懇親会を予定しておりますので、最後までお付き合いをいただきますようお願いいたします。

最後になりますが、次年度には、先程申し上げました災害対策に取り組みますが、昨年策定した「千葉県LPガロードマップ～ライフパートナーへの道～」を皆様方と共に歩み、事業継続できるよう取り組みますので、今までに増しますご理解とご協力をお願い致します。

本日は、スムーズな議事進行にご協力と慎重なご審議をお願いいたしまして、甚だ簡単ではございますが、理事会前のあいさつといたします。

業界最新情報は協会HPの活動便りから！

お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室

がんばろう！千葉

日頃から保安行政の推進に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。県からの連絡事項は次のとおりです。

1 2019年の液化石油ガス事故情報（速報）について

(1) 液化石油ガス一般消費者等の災害事故

県内で発生した液化石油ガスの災害事故は7件で、死者が0名、負傷者は2名でした。事故原因の内訳は、消費者不注意3件、設備不良2件、他工事業者の不注意1件、不明1件でした。事故の内容は以下のとおりです。

- ・消費者のガス栓開閉ミスによる漏えい火災事故
- ・消費者の点火ミスによる漏えい爆発事故
- ・消費者の点火ミスによる漏えい爆発事故
- ・配管の腐食・劣化による漏えい事故
- ・配管の腐食・劣化による漏えい火災事故
- ・他工事業者がLPガス配管を水道管と誤認して切断したことによる漏えい事故

・何らかの原因による調整器のユニオンからの漏えい事故

前年が12件と、ここ数年で最も多かったのですが、2019年は減少しました。各販売事業者におかれましては、引き続き、一般消費者等に対してガス使用時の注意事項の周知を行うと共に、供給設備点検・消費設備調査等による設備の管理等を徹底するなど、従来以上に事故の発生を防止するよう努めてくださいようお願いいたします。

事故発生から数日経って、あるいは復旧・終息してから県に通報する事例が散見されます。液化石油ガス一般消費者等において事故が発生した場合、あるいは事故であることが疑わしい場合も含め、販売店又は保安機関は、規模の大小や夜間休日を問わず、直ちに県産業保安課に通報するよう心がけてください。

(2) 液化石油ガス容器の喪失・盗難事故

県内での液化石油ガス容器の盗難事故は9件で、前年より3件減少しました。発生場所としては、店舗等5件(55.6%)、公民館等2件(22.2%)、民家(居住中)1件(11.1%)、民家(空家)1件(11.1%)でした。

高圧ホースを切断して持ち去るなど、悪質な案件が発生しています。販売店・保安機関におかれましては、より一層の巡回強化や顧客への注意喚起等の対策をお願いします。

また、令和元年10月の大雨による土砂災害により、喪失事故が2件発生しました。

充てん容器等については、法令等の規定による「転落、転倒による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置」を徹底してください。また、ガス放出防止型高圧ホースの設置や充てん容器の二重掛け措置を進めるとともに、台風等の襲来により、風水害の発生が想定される場合には、保安機関としての緊急時対応体制を強化して下さい。

(3) 高圧ガス保安法（液化石油ガス保安規則関係）の事故

県内で発生した高圧ガス保安法（液化石油ガス保安規則関係）の事故は、2件ありました。そのうちの1件は、液化石油ガスの充てん所において、中間ホースからの漏えい事故でした。調査の結果、原因は充填ホースのメーカーが推奨する最小曲げ半径以下で使用したため、ホース外面が破断し腐食が進行して漏えいに至ったものとされています。

台風15号等 被災事業者への災害対策費及びLPライフ天災地変特認支援金査定について

災害対策費

① 防災基金申込事業者

対象：② 事業所並びに事業者の自宅等

③ 罹災証明書（被災確認用）及び

見積書等（被害額確認用）を提出した事業者

LPライフ

① LPライフ加入事業者

対象：② 事業所並びに事業者の自宅等（従業員の自宅等を含む）

③ 罹災証明書（被災確認用）及び

見積書等（被害額の確認用）を提出したもの

○物損について、対象・対象外となる項目は下記の通りです。

◆対象◆

- ・オートガススタンド、ガソリンスタンド（備品含む）
- ・敷地内のもの
例；フェンス、テレビのアンテナ、太陽光パネル
- ・従業員本人名義で自宅以外(月極駐車場等)に駐車している車

◆対象外◆

- ・家屋等の取り壊し費用
- ・土砂・廃材等の撤去処分費用
- ・LPガスの販売に関係のないもの
例；米蔵、米、販売用の太陽光パネル
- ・LPライフの加入依頼書記載の住所でない場所のもの
例；借りている容器置場

※一例を掲載 LPライフは全L協の査定に準じます。また災害対策費は、LPライフ査定に準拠します。

損害額	損害程度		支援金額	
	1,000万円以上	700万円以上～1,000万円未満	10万円	8万円
400万円以上～	700万円未満	6万円	4万円	
100万円以上～	400万円未満	4万円	2万円	↑ LPライフ加入者対象
10万円以上～	100万円未満	2万円		

2019年度 青年委員会活動報告

廃棄ガスメーター収益金寄付

去る2019年12月10日(火)に、青年委員会(今関智史委員長)から(公社)千葉県緑化推進委員会と千葉県社会福祉協議会交通遺児援護基金へ、10万円ずつ寄付を行いました。

当委員会では、平成12年度から「社会貢献」を目的として、廃棄ガスメーターの回収運動を委員会独自の事業として行っており、この運動により得られた収益金を各方面へ寄付をさせていただいております。

特に、LPガス販売事業者として普段ガスの配送等の為に車を使用していることから、環境保全の啓発また交通事故防止の啓発を含め社会貢献として、例年同2団体宛てに寄付を行っております。

今後とも会員の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

◎今までの主な寄付先

寄付先	金額
交通遺児援護基金	計200万円
千葉県緑化基金	計90万円
被災県LPガス協会青年部	計80万円
東日本大震災被災県内販売店	計30万円



【↑左：(公社)千葉県緑化推進委員会 専務理事白石勇一様】



【↑右：千葉県社会福祉協議会 常務理事 鈴木一郎様】

青年委員会 愛媛県研修レポート

研修旅行を終えて ミライフ(株)早坂優作

青年委員会では2019年10月27日~28日、愛媛県へ研修旅行に行き参りました。委員、事務局含め10名にて愛媛県LPガス協会青年部会との意見交換会、豪雨被災地の視察を実施しました。

意見交換の中で、私は愛媛の委員の方の主体性と熱意を強く感じ取りました。四国では現在、都市ガスを含むガス事業者5団体で構成する「ガスコラボ四国」という団体を発足させ地域の方へのガスの更なる利用促進のための活動を推進しているとのこと。団体の活動のメインとして、子どもたちへの「火育出前教室」に特に注力されており、この活動が他県に類を見ないほどの実績を残しているようです。

そのいちばんの理由は、活動を実施されている青年委員の方のLPガスのイメージアップに対する主体性ではないかと思えます。ガスコラボ四国は「地産地消」「地域防災」という二つのテーマを火育と絡めて内容に盛り込んでいるそうです。

「地産地消」は、火育の中で地元のお米をガスで炊いて食べるという体験を子どもたちと共有するという内容だそうです。これは美味しいという記憶の中に、地元や地域というキーワードが紐づく絶好の機会であると同時に、我々が子どもたちに対して「エネルギーの地産地消」という考え方についてもアピールできるチャンスではないかと私は感じました。

「地域防災」については、防災意識や災害時に必要となる火の取り扱いについて、子どもたちに学んでもらうことを通じて火育活動を行っているそうです。ガス事業者からすれば、自立分散型のエネルギーが災害時にどのように役に立つかという観点も織り込むことができる上、LPガスは防災の観点からも選ばれるべきエネルギーであるというアピールに繋がっているようです。



ガスコラボ四国では、以上二つのテーマを持って火育活動を推進していくことで、業界全体の知名度向上やイメージアップを図ると同時に、参加している各県の委員の方それぞれが地元での本業を継続発展させていくための好材料としていることで、火育活動の運営側に主体性が生まれているのではないかと感じました。千葉青年委員と致しましても、愛媛青年委員の方の火育に対する主体的な姿勢から学ぶことは大いにあったのではないのでしょうか。

また、LPガス業界において高齢化、人口減少という問題はこれからは全国各地でついて回るものだと思います。加えて自然災害の規模が拡大している昨今において、地域で選ばれ続けるエネルギーであることを目指す愛媛青年委員の方からは強い熱意を感じました。

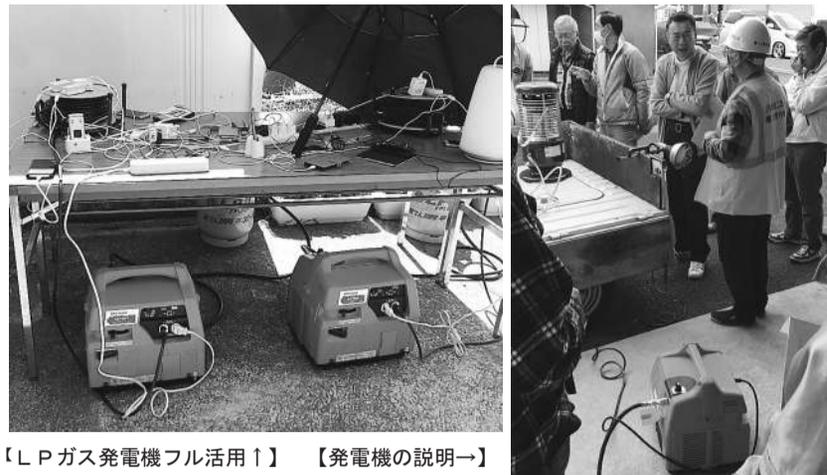
豪雨被害が残る愛媛県ですが、青年委員の方々からは業界を盛り立てていく当事者であるという意志の強さが窺えました。千葉県においても台風被害に屈せず、若手である青年委員が大胆な発想で、これからの業界について「熱意と主体性」をもって考えて参ります。

自分たちのまちは自分たちで守る

印旛支部長 高木 秀夫

私共の住む町内会に「自主防災組織」ができました。「自主防災組織」とは、地震・火災等の災害時に住民がお互いに協力しあって住む地域を守る、つまり「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的とした組織です。八街市では、町内自治会等の単位で結成された「自主防災組織」に助成をしています。この町内も2017年に組織を立ち上げ、50万円の補助金支給が決まりました。町内会長から相談があったので、ガス発電機2台、LEDサーチライト、赤外線ストーブ等の購入を提案しました。昨年2月に無事に納品ができた時には、「これを使うような大きな地震はこの八街市ではないだろう、防災訓練で動かすしかないかな」などと不謹慎に考えていました。まさか、半年後に活躍するとは思っていませんでした。

昨年9月9日早朝から始まった停電。この町内全体では10日の夜まで、さらに電線が切れた影響を受けた約20世帯が取り残され、21日の夜まで延々と停電が続いたのです。停電後すぐに、ガス発電機のフル回転が始まりました。まず、事務所前で携帯電話の充電、夕方からは、各家庭の給湯器の電源に使用して浴槽にお湯張り、さらに洗濯機や掃除機にと引っ張りだこになりました。



【LPガス発電機フル活用↑】 【発電機の説明→】

1週間目からは、2か所に発電機を常設し、延長コードで各家庭に配線し、皆さんで発電機を回してもらいました。ガス発電機にはキャブレターがないせいか、セルを回すのが軽く、女性や子供達でもすぐにエンジンをかけることができました。実はこの間、私共の事務所も停電状態でした。ガス発電機はインバーター付きでしたので、サーバーを含めたコンピューター3台と電話の主装置をつなげ、ガソリンの発電機でコピー機とFAXを動かしました。さすがにエアコンまでは動かせませんでしたが、通常営業に支障はありませんでした。少々音がうるさいことを除けば、去年一番役に立ったMVPものでした。そして昨年一番のLPガスの広報宣伝活動となりました。

令和元年度 国家試験が終了 高圧ガス保安協会千葉県試験事務所

高圧ガス保安協会千葉県試験事務所は、令和元年11月10日(日)に実施された高圧ガス製造保安責任者試験及び高圧ガス販売主任者試験と液化石油ガス設備士試験の合格発表を令和2年1月6日(月)に行いました。

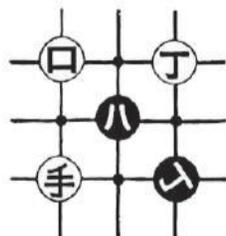
県内受付数は、2,752名で昨年より59名増加、受験率は86.2%で昨年より1.3%下降し、合格率は、44.9%で昨年より5.0%下降しました。

また全国の受付数は、47,417名で昨年より1,181名減少、受験率は88.0%で昨年より0.5%下降し、合格率は、45.8%で昨年より3.2%下降しました。

当該筆記試験及び技能試験の合格率等一覧表を次に掲載します。

試験の種類	科目の区分	全 国				千 葉			
		出願者数	受験者数	合格者数	合格 率	出願者数	受験者数	合格者数	合格 率
乙 種 化 学	全科目受験	1,696	1,434	340	23.7%	182	148	36	24.3%
	科目免除	1,093	1,072	792	73.9%	154	154	110	71.4%
	計	2,789	2,506	1,132	45.2%	336	302	146	48.3%
丙種化学(液石)	全科目受験	3,119	2,602	342	13.1%	96	82	7	8.5%
	科目免除	1,161	1,153	1,102	95.6%	31	31	30	96.8%
	計	4,280	3,755	1,444	38.5%	127	113	37	32.7%
丙種化学(特別)	全科目受験	3,180	2,771	563	20.3%	207	176	20	11.4%
	科目免除	2,503	2,474	2,155	87.1%	181	180	146	81.1%
	計	5,683	5,245	2,718	51.8%	388	356	166	46.6%
乙 種 機 械	全科目受験	4,305	3,643	716	19.7%	318	273	44	16.1%
	科目免除	1,736	1,699	1,371	80.7%	120	118	96	81.4%
	計	6,041	5,342	2,087	39.1%	438	391	140	35.8%
第二種冷凍機械	全科目受験	3,225	2,512	785	31.3%	202	151	52	34.4%
	科目免除	1,093	1,061	839	79.1%	77	77	54	70.1%
	計	4,318	3,573	1,624	45.5%	279	228	106	46.5%
第三種冷凍機械	全科目受験	9,720	7,908	2,565	32.4%	599	445	148	33.3%
	科目免除	1,745	1,689	1,317	78.0%	129	123	93	75.6%
	計	11,465	9,597	3,882	40.5%	728	568	241	42.4%
第一種販売	全科目受験	2,486	2,230	971	43.5%	109	96	43	44.8%
	科目免除	637	626	527	84.2%	42	42	36	85.7%
	計	3,123	2,856	1,498	52.5%	151	138	79	57.2%
第二種販売	全科目受験	5,208	4,718	1,905	40.4%	150	132	53	40.2%
	科目免除	2,884	2,799	2,228	79.6%	116	113	85	75.2%
	計	8,092	7,517	4,133	55.0%	266	245	138	56.3%
合 計	全科目受験	32,939	27,818	8,187	29.4%	1,863	1,503	403	26.8%
	科目免除	12,852	12,573	10,331	82.2%	850	838	650	77.6%
	計	45,791	40,391	18,518	45.8%	2,713	2,341	1,053	45.0%

※ 全科目免除者に係る集計は除いています。



令和になり最初の新年を迎え、『今年の目標』を考えている最中で、この原稿を書いています。

昨年は、年始より『5S』の目標を掲げ、必ずや日々実行し、考え方や志を一步も二歩も前進させ、『時間もつくるぞ』と意気込んでおりましたが、恥ずかしながらほとんど実行できず、一年が過ぎてしまいました。

今年は『5S』に再度チャレンジをします。実行しないと仕事や生活に支障をきたしてしまうと感じているので決意をしました。

昨年と違う今年のモチベーションは、どこから湧いてくるのかといいますと、『災害』です。昨年も災害が多く、自分自身の心構えや態勢が備わっておらず対応が追い付かず、時間も足りず反省ばかりでした。いつなんどき起こるかかわからない『災害』に対応するためには、基本の『5S』を実行して心構えや態勢を整えておきたい。考え方、心構え、志を成長させたいと思います。

欲張りなものでもう一つの『今年の目標』があります。『カラダづくり』です。健康であり、体力があることが大切だと感じています。日々の仕事やプライベートでやりたいことをするためには『カラダ』が元気であることが大切だなと感じます。自分の『カラダづくり』のやり方は、『歩く、登る、走る』です。自分の『カラダ』を壊すことなく、ちゃんと『つくって』行きたいと思います。

この二つの目標を実行して、元気で前向きな年にしたいと思います。出発進行!

当摩 敦 記

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう!